

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

② 施設・事業所情報

名称：横濱あんじゅ小規模保育園	種別：地域型保育事業
代表者氏名：森田 みゆき	定員（利用人数）： 19(19)名
所在地：〒241-0821 横浜市旭区二俣川2-85-3 二俣川NKビル1階	
TEL：045-744-5656	ホームページ： http://anfan-nursery.jp/about/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日： 2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社グリーンネット	
職員数	常勤職員： 6名 非常勤職員： 7名
専門職員	園長 1名 ・ 保育士 10名 ・ 看護師 1名 保育支援者 1名
施設・設備の概要	乳児室 3室 職員休憩室（更衣室） 1室 沐浴室 1室 調理室 1室 トイレ 1室 事務室（医務室） 1室 鉄筋コンクリートRC造り 4階建ての1階 延べ床面積 145.38㎡ 園庭 なし

③ 理念・基本方針

【保育理念】

子ども一人ひとりを大切に、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指します。

【基本方針】

- ・家庭的雰囲気のもとで一人ひとりに寄り添う。
- ・家庭と連携を図り、保護者とともに子育てをする。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

【立地および施設の概要】

横濱あんじゅ小規模保育園は、相鉄線二俣川駅南口から上り坂で徒歩6分、自然公園通りに面しています。また、相鉄バス「万騎が原第1」バス停の目の前に位置しています。

駅周辺は再開発されタワーマンションがありますが、大通りを一步入ると住宅街が広がっています。近隣には公園が多くあり、歩道を歩いていくことができます。また、近くには法人運営の保育園や介護施設、卒園後の連携園があり交流しやすい環境にあります。園舎は4階建てビル1階のワンフロアで園庭はありません。

株式会社グリーンネットが運営する園は、2021年4月に開園した横浜市認可の小規模保育園（A型）です。クラスは0～2歳児の3クラスで、現在19名（定員19名）が在籍しています。

【園の特徴】

法人の考え方や園の理念、方針に基づいて、子どもたちがゆったり過ごせる家庭的な雰囲気大切に、一人ひとりに寄り添う保育を心がけています。

0～2歳児の子どもに応じた様々な経験ができるように、職員が話し合っ季節の行事や活動を取り入れています。

保護者との情報共有をしっかりと行い、保護者が相談しやすい環境作りをして、明るく笑顔の絶えない保育園を目指しています。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年4月18日（契約日） ～ 2023年10月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	一回

⑥ 総評

◇特長

1. 子どもの興味・関心、安全に留意した手作り玩具や遊具の作成

子どもたちが落ち着いた環境の中でじっくり遊びこめるように、職員は子どもの発達に応じた手作り玩具を作っています。子どもの遊びの様子から、さらに新たなおもちゃを作ったり、パーテーションやトンネル、柵、クッション等を作り、0～2歳児の子どもたちが十分に遊びこめる環境を作っています。

また、誕生会やお楽しみ会、毎日の活動前には絵本の読み聞かせや職員手作りの手袋シアター、スケッチブックシアターを用意して、子どもたちが園生活を楽しめる工夫をしています。

2. リスクマネジメントへの取組

0～2歳児の事故防止や安全確保については、各対応マニュアルを整備し、災害や安全の年間計画を作成して積極的に取り組んでいます。

災害や防犯の避難訓練計画に基づいて、訓練を実施しています。子どもには非常ベル（拡声器）の音を知ってもらう、ダンゴムシポーズをとれるようになるなど、子どもに覚えてほしいことを明確にしています。職員は「子どもが暗くて泣いたらどうしようか」「靴はどこで履かせたらいいか」等を話し合いながら取り組んでいます。避難用3人抱きキャリーを購入し、保育者が使用して避難できるかなども試しています。

ヒヤリハットは記録用紙があり、生命危険度や領域分類等の項目と出来事を一行にまとめ職員がすぐに記録できるようにしています。ヒヤリハットや事故報告書の内容は職員会議で話し合い、改善や再発防止に取り組んでいます。

3. 子どもの園生活を伝える工夫（家庭との連携）

職員は日頃から子ども一人ひとりの情報を共有しています。また、ワンフロアで保育を行なっていることから、担任以外の保育者でも子どもの様子を把握しており、保護者に伝えることができる環境にあります。

コロナ禍での開園だったこともあり、現在も子どもの受け渡しは玄関で行なっていますが、子どもたちの日々の様子は連絡ノートや送迎時に伝えています。

保育参観や行事の際に「今の子どもたち」として、朝の会からの普段の様子を動画撮影し、保護者の方に見てもらっています。また、定期的ではないものの、日頃の子どもたちの様子を写真に撮り、玄関に掲示しています。

◇今後期待される点

1. 園に必要な人材や人員体制に関する考え方・方針の明文化

法人ホームページ等で「子ども・保護者に寄り添う温かい保育」ができる人を求めています。園で必要な福祉人材や人員体制に関する考え方・方針を明文化していません。園の理念・方針・目標を実現するために、法人や園にとって必要な福祉人材や人員体制に関する考え方・方針を、人事規程等で明文化することが期待されます。

2. 職員の職位や経験年数に応じた人材育成計画の作成

園の方針を踏まえた保育士を育てるために、職員一人ひとりの必要な知識・技術に基づいた研修が受講できるよう、職員のキャリアに応じた研修計画を作成しています。しかし、期待する職員像や個人ごとの専門性を明示し、評価・反省ができる研修計画にはなっていません。個人ごとの研修方針がわかり、年度の評価・反省ができる研修計画の作成が期待されます。

3. 実習生やボランティア受け入れについての方針の明確化

小規模園であり、コロナ禍に開園したこともあって、現在まで実習生やボランティアの受け入れはありません。また、マニュアル等も作成していません。実習生やボランティアの受け入れについての方針や基本姿勢を明確にし、マニュアルを作成することが望まれます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園して3年目を迎え、初めて第三者評価を受審させていただきました。今回の受審は、運営や保育全般について振り返ることができ、その中で具体的な課題を見つける良い機会となりました。訪問調査での評価項目に沿った聞き取りや助言、評価結果に基づいた客観的なコメントを頂くことにより、改めて課題を受け止め、向き合う機会を得られたことはとても良かったです。これからも子ども達、保護者の方、地域の皆様にとって、安心して過ごせる園を目指していきたいと思っております。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり